

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

全従業員の物心両面の幸福を追求するとともに、社会の公器として地域に貢献すること

売上高

10,215百万円

営業利益

500百万円

営業利益率

4.9%

グループ社数

56社

② 中長期の経営戦略

1. 成長戦略

既存の3つの事業セグメントを分析・見直し、売上高の80%以上を占める住宅リフォーム事業の伸長と、そのブランド力を活かした新築住宅事業・不動産流通事業の展開、非住宅建物のリフォーム事業を推進

3. 人的資本経営

新規卒者採用と有資格者のキャリア採用をバランス良く実施。経営トップによる研修や階層別研修で幹部層育成。公平な分配制度と働きがい環境づくりで従業員エンゲージメント向上

2. 質の追求と高効率戦略

M&AやアライアンスでグループBtoC化。共同仕入れによる購買力向上、DXやIT技術投資、集客・顧客関係構築ノウハウの共有で地域での必須企業を目指す

4. 顧客満足の追求

利便性向上による顧客対応の最速化と創業半世紀の工事品質維持・向上。「住まいのかかりつけ医」として気軽に相談できる関係づくりで無くてはならない存在を目指す

③ 対処すべき課題

① 事業環境の課題

- ・ 新築住宅着工棟数の中長期的減少傾向
- ・ 住宅ローン金利先高観、土地価格・建築コストの上昇
- ・ 設計職・施工監理職など専門職技術者の人材不足

② 事業ポートフォリオ最適化

- ・ 住宅リフォーム事業のさらなる伸長と新規事業創出
- ・ 成長分野へのリソース集中で利益最大化

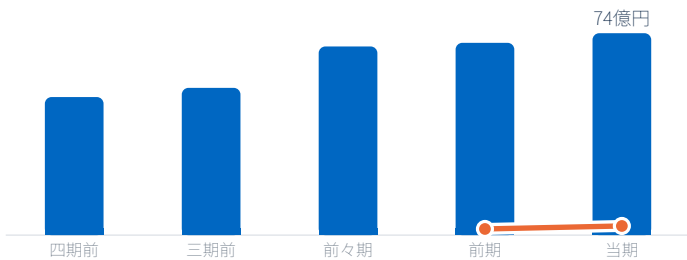
③ 人材確保と生産性向上

- ・ 建設業界の専門技術者有効求人倍率高止まり対応
- ・ 労働集約性高いビジネスで限られた人材を成長分野に集中

面で使えるポイント

- ・ Vision 2030に向けた第2次中期経営計画で2026年度売上高10,215百万円を目指す成長戦略
- ・ M&AやアライアンスでグループBtoC化。DX投資と共同仕入れによるシナジー発揮を推進
- ・ 創業半世紀の工事品質維持と顧客対応の最速化で地域に無くてはならない企業を実現

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
74億円営業利益率
4.5%財務健康度
42点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 35.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
504万円平均年齢
38.9歳平均勤続
6.03年

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

